



あなたのワン・プロジェクトを、明るく楽しくサポートします！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター

Ver.4 第63号

「勝つための情報学」を読みました！



皆さんお元気ですか。臨時休刊しておりましたが、シレッと復活しましたので、よろしくお願ひします(笑)。さて、今回は、「勝つための情報学 (扶桑社、¥924、山村明義著)」をご紹介します！

国家、企業、地域、個人といったレベルで、様々な情報が錯綜しています。情報には本物と偽物(フェイク)が存在しますが、本の帯にあるとおり「フェイクニュースに騙されない方法」を、興味深く面白く学ぶことができる本です。

フェイクニュースには騙されず、これから先を読むために情報の重要性を認識されている方にお薦めします。情報を軽視している経営者はいないと思いますので、この本は必読です。是非、読んでください！

著者は出版社を経て、フリージャーナリストになり、ノンフィクション作家として活動しています。マスメディアの活動実績は35年であり、著者が実践してきた方法が紹介されています。まず、正しい・本物の情報と間違い・偽物情報を見分ける方法、日本人としてビジネスマンとしての情報学、暗号情報の取り扱い、国内・国外の情報戦など、コンテンツは多岐にわたります。

第2章では、情報の「三角測量法」を紹介しています。これは、当事者(直接情報)、対立者(敵対情報)、第三者(間接情報)の三点から情報を取ることです。三角測量法の目的は、予め見積もった目当ての情報が正しいかどうかを測り、情報の誤差を極力減らすこととなります。今、放送中のTVドラマ「半沢直樹」の中で、まさしく半沢が三角測量法的に情報収集して、敵に対処する武器にしていますね(笑)。

そして第5章では、陸軍中野学校が取り上げられています。陸軍中野学校を一言でいえば、戦前に作られた日本最初、そして最後の「情報学校」です。スパイ養成機関だと言われていますが、さだかではありません。陸軍中野学校をモデルにした「ジョーカーゲーム」というアニメ作品がありますが、この中ではスパイ養成機関として描かれています。面白い作品なので興味のある方はご覧ください！

さらに第6章では、暗号情報について書かれています。前段の流れからスパイに関する話ではありません(笑)。分かりやすい事例で言えば、ネットで通信アクセスするとき使用する「ID」と「パスワード」の認証、キャッシュカードの暗証番号の認証等に、暗号情報が使われています。ちなみに、仮想通貨に使われているブロックチェーン技術も暗号の範疇に入りますね。

この本を読むことで、何も知らない情報弱者から、自分の身は自分で守れる情報強者に変身するキッカケになればと思います。ネットは言うに及ばず、新聞やテレビでもフェイクニュースで溢れていますからね(笑)。

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター編集部

発行人 奥村政治

〒540-0034 大阪市中央区島町2丁目2番3号 サハム天満橋 402

発行日 2020年8月3日

TEL06-6920-3191 Email: info@1project-support.com

<https://1project-support.com>

FAX06-6920-3192

Copyright 2020 オクムラ経営コンサルティングオフィス all rights reserved